

びわこ学園だより

発行責任者 理事長 山崎 正策
編集責任者 法人事務局 田處 浩志
印刷 近江印刷株式会社

目次

創立60周年記念企画について	1P
施設等Topics①	2P
施設等Topics②	3P
施設等Topics③	4P~5P
施設等Topics④	6P
職員紹介(2022~2023年度着任)	7P~9P
職員history①(医療技術・事務職員編)	10P
職員history②(生活支援員編)	11P
ご協力ありがとうございます (2023年4月~2023年7月)	12P

創立60周年記念企画について

「この子らを世の光に」を継承しながら
「この子らとともに光り輝く時代に向けて」

法人事務局事業企画部

今年度創立60周年を迎えたびわこ学園では、以下の企画を順次実施しています。

創立60周年記念サイトの開設

当法人では、創立60周年を記念してホームページ内に記念サイトを開設しました。こちらでは、開園当時の写真や「びわこ学園だより第1号1面」を閲覧できることに加え、記念講演動画を視聴することができます。今後については、「創立60周年記念誌」に掲載される内容の一部をこのサイトで紹介する予定です。



開園式で挨拶をされる
岡崎初代びわこ学園園長

創立記念講演(創立60周年企画)

6月2日にオンラインで開催しました。公衆衛生行政に精通しておられる角野文彦氏(滋賀県健康医療福祉部理事・医師)に講師をお願いし、びわこ学園が現在の事業を継続しながら、今後、求められる役割を一緒に考えていく機会となりました。

講演の結びでは、糸賀先生のことばである「自覚者は責任者」となり、気づいたことがあれば知らん顔せず、自分ではできなくても繋げていくことの大切さと、障害のある方がたの生活をゆたかにするために「この子らを世の光に」は現在にも通じることをお話いただきました。

創立60周年記念誌の発行

創立50周年以降のびわこ学園の振り返りや、ホームページでも掲載を予定している「写真で振り返るびわこ学園の60年」、各施設で開催したイベントや、座談会報告、関係者の皆様からのメッセージ等を掲載しています。



第43回びわこ学園実践研究発表会 (創立60周年記念企画)

- 開催日時：12月16日(土)午後
- オンライン開催
- テーマ「この子らとともに光り輝く時代に向けて」
- 概要(講演と実践報告の二部構成)
 - ①講演の部
講師：児玉 和夫 氏
公益社団法人 日本重症心身障害福祉協会理事長
「重症心身障害児者の意思決定支援」や「重症心身障害児施設のあり方」についてご講演いただきます。
 - ②実践報告の部
びわこ学園の各事業所で取り組んだ4つの実践を報告していきます。

創立60周年企画については、当法人ホームページで随時掲載していきます。
是非ご覧ください。



Topics①

「子どもみこしだ わっしょい!! みんなで一緒にわっしょい!!!」

びわこ学園医療福祉センター草津・第1病棟 生活支援員 松田 幸士



みんな~僕に注目!!
おみこし始めるよ~

センター草津内には、子どもから大人まで幅広い年齢層の方が生活されています。

1病棟では、5月に端午の節句をみんなでお祝いし、子どもたちの成長を願い楽しい時間になるようにと、子どもみこしを計画しました。病棟皆で花紙を折って大きなおみこしを製作し、当日は大きなおみこしを「わっしょいわっしょい」と一緒に引っ張って練り歩きました。「トントントン」と太鼓を鳴らし、大きなおみこしが動く姿を見てニコニコととっても嬉しそうでした。

お部屋に入っていくと、「いらっしゃい」と、迎え入れてくれる中、待っていた方たちは太鼓の音を聞いて「なんだ、なんだ?」と少しびっくりされている方や、「何がはじまるの

かな?」と大きなおみこしに目を向け、ワクワクされている方など様々でした。目の前にある大きなおみこしに付いている紐をひっぱると、カランカランと鈴の音が。それぞれが願い事をしてみんなの所を回ったあと、2病棟や3病棟の方たちにも子どもみこしを楽しんでもらおうと訪問しました。皆さん期待して待っていてくれたようで、賑やかな太鼓や鈴の音や、大きなおみこしを囲んで楽しい時間を過ごしました。

これからも子ども同士の交流を深め、楽しい学園生活となるように、一緒に思い出をいっぱい作っていきたいと思っています。



大きなおみこし
がんばって引っ張るぞ!
エイエイオー



太鼓と一緒に
おみこしやってきた!
にぎやかだなあ~



カランカラン
願い事が
叶いますように

「季節感を大切に」 ～2023年度夏祭り～

びわこ学園医療福祉センター野洲 第3病棟生活支援係長 武友 亮人

「あ、今年夏らしいこと一つもしてないなあ…」
 と思ったことはありませんか？そんな時、悲しいよ
 うな寂しいような気持ちになりませんか？コロナ禍
 では出来ないことも多く、そんな思いをした方もお
 られるかと思えます。コロナ禍を経て、季節を感じる
 こと、季節感を楽しむことが大事であると改めて
 思いました。

第3病棟では、コロナ禍の間も規模を縮小し、内
 容を工夫しながら季節の行事や、外出を楽しんでも
 らえるよう取り組んできました。

そして今年は、夏祭りを全棟が会場に集まって開
 催することが出来ました。

ご家族もたくさん来られて、家族と一緒に祭りを楽しむ方もおられました。生憎の天気で、室内開催となり
 ましたが、全棟が交わり、全体で祭りを楽しみ、作り上げる雰囲気を感じることが出来ました。

火踊りも復活し、利用者さんも懐かしい夏祭りの雰囲気を感じることが出来たのではないのでしょうか。

利用者さんの中には、特に第3病棟の利用者さんは年中行事で1年の見通しを持っておられる方が多いです。

節目の行事（夏祭り、学園祭、クリスマス会な
 ど）を目標に、日々楽しみに待っています。

コロナ禍でも規模を縮小し、病棟ごとの催
 しをしてきましたが、今まで通りの祭りとは
 違い、どこか物足りなさもあったと思います。
 物足りなさや、期待していた行事と内容が
 違ったりすることで、調子を崩される方もお
 られましたが、コロナ禍を経て、これから少
 しずつ以前の形を取り戻していけるといいな
 と思います。

季節を感じる、季節を楽しむ催しを今後も
 たくさんできるように頑張りたいと思います。



「祝☆たいよう10周年 そしてこれからも」

びわこ学園障害者支援センター・たいよう 生活支援員 大藪 規晃

2001年5月に開所した「もりやま通園」は、2005年1月済生会病院横に移転し、名称を「こなん通園」としました。そして2012年8月に守山市石田町へ移転し「たいよう」としてスタートしました。2022年8月には開所10周年を迎えることができました。これもひとえに地域の皆様、利用者様、及びご家族の皆様、そしてこれまで「たいよう」に関わってくださった多くの皆様のご支援、ご協力の賜物と、心より感謝申し上げます。

この10年の間に、「たいよう」がある石田町はじめ、地域の皆様と様々な機会での交流を持つことができました。ここ数年のコロナ禍で行動や交流を制限せざるを得ない状況が続いておりましたが、徐々に落ち着いてきていますので、これからは地域の皆様やご家族の皆様と、一緒に楽しい事を企画していければと思っています。

びわこ学園としても、今年60周年の節目を迎えることができました。「たいよう」もびわこ学園とともに、この先15年、20年と歩んでいきます。これまで同様に、利用者様を中心に地域の皆様やご家族様、関係機関と連携し、より一層の充実をはかっていきます。これからも、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

● こなん通園からたいようへ

たいよう新築時のフロアの様子。
これからの期待やワクワクを胸に
ここからスタートしました！



● 地域の中でのたいよう10年のあゆみ

竣工式



開所式



こなん通園からたいようへ。多くの方々に支えられ、開所しました！くす玉からは紙吹雪が舞いました！

出前教室



ななまがりさんへ行ってバルーン活動を披露したり、一緒にバルーンに乗ったり♪声を掛けられ嬉しそうないよう利用者さん♪

プルトップ納品



たいようで集めたプルトップを守山市福祉保健センター(すこやかセンター)へ納品！ありがたい、の言葉に次もまた頑張ろう！と思いました。

夏祭りボランティアさん



盆踊りを江州音頭の歌い手さんに合わせて、ななまがりの皆さんと一緒に踊りました。暑く楽しい夏の思い出です！

地域のみなさんと苗植え



地域のみなさんと一緒に花や野菜の苗を植えました。丁寧に教えていただき、きれいな花や立派な野菜が育ちました！

サンセットライブ



毎月1回夕方にライブ！よさこいだったり、バンド演奏だったり、いろいろな方たちに来ていただきました。楽しい時間を地域の方たちとともに過ごしました。

玉津大好き大発見



近隣の小学生がたいようのように来て、一緒に体験！楽しそうな声がいっぱいでした。

自治会
ななまがりさん



サンセットライブにおいておいしいコーヒーを入れて下さっていました。

「たいようで育てたひまわりの種をみんなに配りました」

「10周年記念制作として陶器を作っているよ」

「キッチンカーをたいように呼んだよ」

「守山市長さんがやってきたよ」

詳しくはたいようブログに掲載していますので、是非、ご覧ください。

最近の
たいようトピックス



Topics④

「ひまわりはうすの多様な活動 ～最近のドライブ活動～古墳?!!」

知的障害児者地域生活支援センター・ひまわりはうす 生活支援員 牧野 法子

ひまわりはうすは多機能型の部署で、というか「超々多機能」なんだそうです。平日に支援センターに来られる利用者さんがおられ（皆さん個別対応です）、土曜日・日曜日はヘルプの利用者さん支援、そして余暇支援活動に来られる利用者さん対応のための準備と支援、後は入浴支援、外に出にくい方のための訪問活動等々・・・。



一職員としては「今日は何の仕事だったっけ?」「どなたが来られるんだっけ?」と確認しながら、変化に富んだ仕事をさせてもらっています。

さて、今回は8月に発行した「ひまわり便り」（3ヶ月に1度A4サイズ1枚発行）に書かせてもらった事を転載?ではなくて、もう少し膨らませて書かせてもらいたいと思います。

8月号では紙すきをやっていること。8月27日に滋賀朝鮮初級学校の「ウリハッキョマダン」（私たちの学校広場という意味だそうです）で手作りキャンドルを販売させてもらうこと。そして散歩中に素敵な写真が撮れたので、これは皆さんにもぜひ見ていただこうと思い、『歴史ある大津市を散歩している様子』として書かせてもらいました。

この写真は、初夏にセンターから車で5分程の茶臼山公園を散歩している利用者さんと職員です。木陰に吹き渡る風が気持ち良さそうで、信州の高原と言っても通りそうでしょう?! 右手の大きな木の向こうには比叡山を見渡す事もできます。ところで「茶臼山」って気軽に言っていましたたが「古墳だって知っていた?」と何人かの職員に聞いてみると、地元大津で大きくなった職員も「知りませんでした〜」と言っています。



ひまわりはうすのカフェでお渡ししています

同じく頻繁に行っている「皇子山公園」も古墳・・・。共に4世紀後半の首長クラスの古墳だそうです。少し時代を繰り上げれば5年あまりとはいえ大津に都がおかれ、壬申の乱の舞台。悠久の歴史あふれる町で見どころ感じどころ満載です。

以上、とりとめもなく書かせてもらいました。日々目の前の小さな事にとらわれがちな毎日ですが、利用者さんと共に深呼吸などして広やかな気持ちでいたいと思うこの頃です。

古墳のうえですよ



職員紹介

～2022年度から
2023年度着任～

びわこ学園医療福祉センター草津



● 栗山 良子

- ① 医師
- ② 今まででは病院での治療に関わることが多かったため、日常生活の場面で、利用者の方のさまざまな表情、姿に触れることができうれしく思います。
- ③ 利用者さんが、おだやかで豊かな生活が送れるよう、関わりの中で皆様と一緒に考えていきたいです。



● 隈元 美穂

- ① 理学療法士
- ② 利用者さんの笑顔や楽しそうにしている姿を見せてくださったときに、うれしさを感じます。
- ③ 利用者さんだけでなくそのご家族にも「今日はい一日だったな」と思っていたるように、心と身体に寄り添い、考え、一緒に成長していきたいです。



● 山根 有希代

- ① 看護師
- ② 利用者さんが笑顔を見せてくださったたり、何らかの反応をしてくださったときは、一職員として受け入れていただいているように感じてうれしく思っています。
- ③ 利用者さんに日々元気に、楽しく生活していただけるよう、びわこ学園ならではの看護を学んで成長していきたいです。



● 佐山 とあ

- ① 看護師
- ② 利用者さんが笑顔を見せてくださるようになった時が嬉しかったです。
- ③ 利用者さんの「いつもと違う」に気がつけるように日々の関わりを大切にしていきたいです。



● 廣瀬 永美

- ① 看護師
- ② 利用者さんのキラキラした笑顔や反応が見られたときにとても嬉しくなります。
- ③ 利用者さんの心の声に寄り添い、利用者さんと一緒に充実した幸せな毎日を送りたいです。



● 園田 祐介

- ① 看護師
- ② 5年ぶりにびわこ学園に再就職しました。5年ぶりに利用者さんに出会うことができ嬉しく思います。
- ③ 病院での経験を生かせるように頑張りたいです。



● 大柳 奈津子

- ① 看護師
- ② 利用者さんの小さな反応も気づいて受け止め、やりとりされている先輩方と利用者さんの様子が素敵でした。
- ③ 利用者さんが穏やかに過ごせるように、心配りできるようになりたいです。



● 伏見 優里

- ① 生活支援員
- ② 日々の過ごしの中で歌ったり、コミュニケーションをとったりといった私の行動に対して利用者さんが笑顔を見せてくださったたり、一緒に歌ったりしてくださるととても嬉しいです。
- ③ 利用者さんのすてきな笑顔や個性を引き出せるような関わりができるような関係を築き、本人さんの気持ちや思いを考え続けたいです。



● 加藤 文子

- ① 生活支援員
- ② 喜びの表現といっても、笑顔や笑い声に限らず、声の調子、身振り・手振りといった全身を使ってコミュニケーションを取って下さる利用者さんのことを、とても印象深く思います。
- ③ 視線、口もと、身体の緊張などの変化に注目しながら、利用者さんの気持ちに気付けるようになり、そして、利用者さんとともに、喜び、楽しむ時間を過ごしていきたいです。

今年度もはや後半。着任された皆さんは、4月以降定期的に研修を受けながら、配属部署で先輩職員と共に利用者支援に頑張っています。就職してこれまでの日々の中で感じていることやこれからについて綴ってもらいました。

【自己紹介について】

- ① 職種
- ② (就職して) 印象に残っていること・うれしかったこと
- ③ これからの抱負

＼びわこ学園医療福祉センター野洲／



山岡 さくら

- ① 理学療法士
- ② 利用者さんと関わる中で、笑顔を見せて下さったりお話ができるようになってきたことです。
- ③ 利用者さん一人一人の気持ちに寄り添いながら、安全・安楽に生活していただけるように関わっていききたいです。



田辺 さおり

- ① 看護師
- ② 利用者さんの笑顔が見られることです。
- ③ 利用者さんのことをよく知って、信頼関係を築いていきたいです。



大谷 瑞稀

- ① 看護師
- ② 利用者さんと少しずつお話出来るようになってきた事です。
- ③ 利用者さんの思いを尊重して安全・安楽に生活していただけるように関わっていききたいです。



中村 彩里

- ① 看護師
- ② 利用者さんと会話したり一緒に作業をしたりすることで様々な一面が見られることです。
- ③ 利用者さん一人一人が安全安楽に過ごして頂けるように関わっていききたいと思えます。



盛本 さよ

- ① 看護師
- ② 利用者さんのケア時に笑顔を見せていただいたことが、受け入れていただいたように感じて嬉しかったです。
- ③ 利用者さんのことを知り、身体面でも心理面でも安楽に過ごしていただけるように関わっていききたいと思えます。



佐野 文亮

- ① 生活支援員
- ② 利用者さんとのやりとりが少しずつできるようになったことです。
- ③ 利用者さんとの信頼関係を築いていきたいです。



中島 三由美

- ① 生活支援員
- ② 利用者さんの表情、笑顔に癒されています。
- ③ 安全安楽に、楽しく生活を送って頂けるよう関わっていききたいです。



藤川 奈那央

- ① 生活支援員
- ② 利用者さんの笑顔や穏やかな姿を見られたとき嬉しく思います。
- ③ 利用者さんと信頼関係を築いていけるように、安全かつ丁寧な支援を心掛けていきたいです。



豊福 真司

- ① 生活支援員
- ② 活動のための大がかりな粘土室を備えていたり、とても大きな施設でびっくりしました。
- ③ 利用者さん一人ひとりの好きな事・嫌いな事などをもっと理解してゆき、利用者さんともお互いに楽しくコミュニケーションが取れるようになりたいです。



渡邊 浩志

- ① 調理師
- ② びわこ学園の業務の進め方があり1つずつ覚えていくのが大変ですが、皆さんに相談しながら楽しく業務を進めていきたいと思えます。
- ③ 早く業務に慣れてイベントなどにも参加できるよう頑張ります。

知的障害児者地域生活支援センター



藤本 理加

- ① 看護師
- ② 利用者さんが笑うと、自然と周囲も笑顔になって温かい雰囲気になること。
- ③ 利用者さんとご家族の思いに寄り添いながら、一緒に安心できる支援を考えていきたいと思っています。よろしくお願ひします！



大熊 哲

- ① 生活支援員
- ② 毎日反省ばかりではありませんし、ゆっくりとではありますが、少しずつグループやブロックの利用者さんと関わられるようになってきたり、利用者さんから声をかけてもらえる事が増えてきているかなと実感しています。
行き詰ったときに先輩職員の皆さんに相談し、教えてもらったことが関わりに生きた事等、日々の積み重ねで関わりが上手く響いた時はやっぱり嬉しいです。
- ③ 行動障害やいろいろな障害について知識を身につけ、また利用者さん一人一人の性格や特性について知っていきたいと思います。また、より利用者の方々に合った支援ができるように関係を楽しんでいきたいと思っています。



河原崎 菜摘

- ① 書記
- ② 少しずつ慣れてきて、利用者さんと職員のみなさんに話しかけていただけたり、コミュニケーションがとれるようになってきました。業務については、毎月の締め切りがある中でやり遂げられたときに、とても達成感があります。
- ③ 労務担当者として、職員のみなさまに寄り添い、頼っていただけるような存在になれるように努めていきたいです。

びわこ学園障害者支援センター



遠藤 百々

- ① 看護師
- ② 利用者様やご家族の成長、乗り越えられたことを一緒に喜べたこと。
- ③ これからも利用者様やご家族の思いに寄り添ってまいります。



遠藤 大勢

- ① 生活支援員
- ② 利用者さんと会話の機会が増えてきたこと。
- ③ 精一杯努力します！



金澤 千里

- ① 相談員
- ② モニタリングの回数を重ねていくことに関係性が深まっていくことを実感できています。積み重ねの大切さを毎日実感しています。
- ③ 忙しくても丁寧さを忘れないように。本人さんの思いを真ん中に置いた支援と、暮らしを豊かにできるような支援者のチーム作りをしていきたいです。



藤原 伊都子

- ① 書記
- ② 事業所が点在しており、離れた事業所もありますが、皆なかよく雰囲気の良い職場だと感じました。周りの皆さんが親切に接して下さったことが嬉しかったです。
- ③ 事務担当者として、びわこ学園の皆さんのお役に立てるように頑張りたいと思います。

法人事務局



園田 千鶴

- ① 相談員
- ② 15年ぶりにびわこ学園で動かさせて頂くことになり、懐かしい職員さんや相談支援専門員として働く中で、繋がることのできた方たちと同じ場所で働くことができることが幸いです。
- ③ 滋賀県重症心身障害児者・医ケア児等支援センターに学んできた課題は解決困難な事柄が多いですが、各専門分野の機関や地域の方々と協同しながら、障がいがあっても住みやすい滋賀の町づくりの一翼を担ってまいります。



向島 昭雄

- ① 書記
- ② 離職期間を経て再びこちらでお世話になることになりましたが、職員の方が優しく、大変感謝しております。
- ③ ご迷惑をおかけしたことも大変申し訳なく感じております。その気持ちを忘れずに、心機一転、学園に貢献してまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

職員History① ～医療技術・事務職員編～

びわこ学園は病院機能と福祉機能を併せ持った法人であり、多様な職種の職員が利用者支援に携わっています。今年もそれぞれにびわこ学園で働く中で感じていることを綴っていただき、職種ごとでまとめさせていただきました。



面接時に草津と野洲の放射線課兼務を伝えられ2施設勤務がスタートしてから早10年、時の流れの速さに驚いています。それまで私は急性期病院に長年勤務していました。

当時、ケアマネジャーさんから重度心身障害者医療についてお話を聞いて今までの医療と異なる医療に惹かれ、診療放射線技師としての経験が何か役に立てないだろうか考えたのが出発点でした。

入職当初、利用者さんとコミュニケーションをとることが難しく検査ができない時もありました。岡崎先生の「本人さんはどう思てはるんやろ」の言葉をかみしめ、利用者さんのサインを受け取ることの大切さを痛感しました。利用者さんや職員の方々にたくさん支えられて今日まで来られたことに感謝し、初心を忘れずに邁進していきたいと思います。

(橋川 信忠・診療放射線技師 係長11年目)
びわこ学園医療福祉センター草津

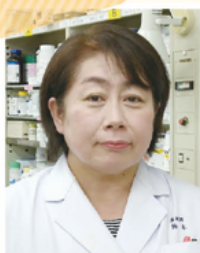


センター草津を初めて訪れた研修で「こんなに楽しいリハビリをできるPTになりたい」と思い、就職してから5年が経ちました。当初は、利用者さんはどう感じていらっしゃるのか、どうやって信頼関係を築けばよいのか、自分に何ができるのか、等

日々悩みながら通っていました。今でも悩みながらですが、利用者さんからたくさんのことを教わり、考えの幅やできることが少しずつ広がってきたと思います。

2、3年目の頃、ある利用者さんの腕用ハンモックを病棟の担当職員と一緒に作りました。それを使うと笑顔で腕を動かしてください、「往年の〇〇さんパンチだ!」と周りの職員も一緒に盛り上がったことを覚えています。そんな達成感や笑顔を共有できる瞬間をこれからも大切にしていきたいです。

(鈴木 千晶・理学療法士6年目)
びわこ学園医療福祉センター草津



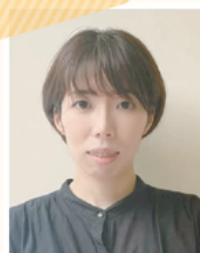
ご縁を頂きセンター野洲に入職し、あっという間に6年になります。

それまでの職場とは違う採用薬品、複雑な処方箋に戸惑いつつ、とにかく無我夢中で目の前の調剤と向き合ってきた毎日でした。そんな中、園内に展示されている利用者さんの詩や造形作品に温かい気持ちや元気を頂いたり、他職種スタッフと利用者さんとの関わりに深い絆を見て、胸を打たれることも多々ありました。

薬剤を通じて利用者さんの健康やQOL向上のお手伝いすることは私にとって大きな喜びです。最新の情報をキャッチアップし適切に提供することや、お一人お一人に対する理解を深めることで利用者さん、チームに信頼して頂けるようになります。

岡崎先生の「本人さんはどう思てはるんやろ」「熱願冷諦」の言葉を胸に刻み、これからも学びを続けていきたいです。

(鈴木 智美・薬剤師6年目)
びわこ学園医療福祉センター野洲



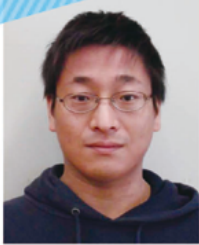
事務所の隅で数字を見つめ3年と少しになります。態度は10年目とお声がけいただくこともあります(笑) そんな私も入職当初はびわこ学園についての知識の無さ、数字の大きさに圧倒されるばかりで、日々「数字の羅列」を処理することに必死でした。それでも2年、3年と経験を積み重ねていく中で、無機質な数字が有機的なものになりつつあるのを感じます。それは利用者様、支援に関わる職員、施設の事務員、様々な人との関わりの中で自分が扱う数字は様々な人の手を介し、色んな思いが内包していることを教えていただいたからです。そのような関わりや機会をいただけたことに日々感謝しています。

これから経験年数を重ねても「自分が何を知らないのか。」を知ることを心掛け、人との関わり合いの中得られるものに目を向け、日々の業務一つ一つを大切にしていきたいです。

(柴原 麻美・書記4年目)
法人事務局

職員History② ～生活支援員編～

ここでは、生活支援員4名の皆さんに綴っていただきました。



びわこ学園に勤めて5年が経ちました。日々病棟が忙しい中でくると動き回っていると、ふと「今の支援で良かったのか」と考える事があります。どたばたと食事が進んでいなかったか？本人が気持ちを出せていたのか？立ち止まって考えると職員本位な事ばかりかもしれません。

何が正しいのかは未だ全く分かりません。しかし、周囲の職員、特に他業種の方々と話をするとたくさんの視点や意見をもらえます。それは自分の価値観や考え方を見直すきっかけになって働くヒントになっています。

正解のないまま不安な道ですが、今はゆっくりと少しずつ利用者さんの生活に向き合っていけたら幸せだなあと考えています。

(井上 岳治・生活支援員6年目)
びわこ学園医療福祉センター草津

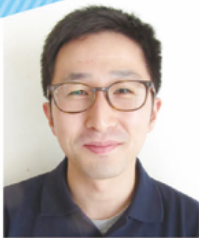


私は大学卒業後、びわこ学園に就職し、4年間「ヘルプステーションちょこれーと。」で訪問介護を経験しました。一人で利用者さんのご自宅に訪問して支援を行うことに、初めは大きな不安がありました。先輩方、利用者さん、ご家族は頼りない私を温かく

見守って下さいました。

訪問先では先輩方の目がない分、支援技術についても社会人としてのマナーについても、ご家族が指摘して下さい学ぶことが多くありました。利用者さんは私の間違っていることを言葉や表情で教えて下さったり、介助しやすいようにタイミングを見て身体を動かして下さいました。徐々にリラックスして利用者さんに関われるようになったと感じていますが、利用者さんはどう思っておられたのでしょうか。やはり、一番に思い出されるのは、利用者さんがご家族から愛され、安心しておられる姿、幸せそうに笑っておられる姿です。病棟で働く今も、私との関わりの中でそのような姿が見られるようになることを目標にし、利用者さんへの丁寧な声掛けや支援を大切にしていきたいと思っています。

(高田 涼華・生活支援員6年目)
びわこ学園医療福祉センター草津



センター野洲の生活支援員として働いて今年で6年目になります。最近ふと思い出すのは、2住棟に来てはじめて嬉しかったことです。それは詩を書く利用者さんが、数人おられることでした。なぜそう思ったか

というと、私も長く詩を書いてきたからです。

若い頃から詩やお話の創作をしてきた2住棟の利用者さんとは、詩の話が自然とでき、このことは私にとってとても幸運なことでした。利用者さんのMさんからは「しはこころのふうけい」と教えてもらい、Hさんは私のことを「しのなかま」と言ってくれました。

お二人とも今は心身の状態の変化から、詩を書くことができなくなっておられます。言葉にならないまま忙しく流れていく住棟の毎日ですが、利用者さんから貰ったいくつかの言葉は、思い出す度、私を立ち止まらせ大切なことを教えてくれます。

(梶谷 佳弘・生活支援員6年目)
びわこ学園医療福祉センター野洲



びわこ学園へ就職して5年が過ぎました。初めての着任先は「グループホーム」でした。就職して初めの頃は、不安の方がいっぱいでしたが先輩職員から丁寧に指導いただき、利用者さんとの関わりが楽しくなっていったのを覚えています。その頃から今も、大

家族の一員のような気持ちで利用者さんに関わらせてもらっています。

その関わりの中でも特にこの仕事を続けてきてよかったと思うことは、利用者さんの気持ちに寄り添うことで自分に向けられた笑顔を見た時です。その笑顔が見たくて今まで仕事を続けられているように思っています。

これからは、一人でも多くの利用者さんから信頼される職員になれるよう、自身のスキルアップを目指して、苦手なことにもチャレンジしていこうと思います。

(加藤麻美子・生活支援員6年目)
びわこ学園障害者支援センター・ケアホームとる

ご協力ありがとうございます

(2023年4月～2023年7月) (敬称略)

皆様の心温まるご支援に感謝いたします。

寄付金

(寄付金についてはいただいた方の御名前または団体名のみご報告させていただきます。)

びわこ学園医療福祉センター草津

匿名

びわこ学園医療福祉センター野洲

(株)ファンケル/福本喜美代

物品の寄付

びわこ学園医療福祉センター草津

食 品・・・サポートハウスココロネ住吉/石塚義之・千恵

その他・・・松林聖一/浦 伸年(2件)/上田淑子

びわこ学園医療福祉センター野洲

食 品・・・二宮博之・聡子/服部重正

日用品・・・種池悦子/中富恵子/小幡良雄/匿名

びわこ学園障害者支援センター

その他・・・辻 潔

ボランティアのみなさん

びわこ学園医療福祉センター草津

天理教江支支部/玉川中学校PTA/山科たんぽぽ/加藤常満/西浦正一/御子芝貴美子/勝島三男/勝島百合子/中村勝彦/前田五月/田中智子/本城正子/加藤美由紀/向吉昌代/奥田多恵/中路友未/池田はるか/松永朋子/船木篤栄/香川典代/近松清司/尾浦与子/古賀田鶴子/三宅恵美子/前田佐知/國吉 早/西川千晴/西尾悦子/元井芳嗣/坂口博昭/佐々木燈/田辺久子

びわこ学園医療福祉センター野洲

近江金田教会/K-クラブ/更生保護女性会/天理教婦人会/さえずり/together/ニレトミ会/レイカ野洲/野洲赤十字奉仕団/レイカディア学園芸科43期/レイカディア学園芸科44期/レイカディア学園芸科OB/大津友の会/秋末文孝/安藤眞紀/磯 春樹/今里哲也/上田順子/加藤常満/川端しづ子/左部真千恵/辰市由佳/田中規久子/東郷 勇/中富恵子/林 政子/藤山庸子/細川久子/堀田千景/森 紳司/山本一代/樋口世治/阪本博史/朝倉圭子/元木恭子/吉川文枝/木村真由美/元木隆治

びわこ学園障害者支援センター

笠縫東学区更生保護女性会 卯田美千代/石田自治会・ななまがり 今野弘子

その他の協力団体

びわこ学園後援会

各施設等での事業補助

「えるぼし(三ツ星)」認定を取得しました



2023年8月3日に「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)」に基づく「えるぼし(最高位である三ツ星)」認定を取得しました。

今後も、職業生活と家庭生活との両立に資する雇用環境を整備し、効率的な働き方への変革や働き方の多様性を推進します。



さんさん展

San San Exhibition

開催：2023.11.18(土)～11.30(木)

場所：野洲図書館ギャラリー展示

野洲図書館本館 野洲市辻町410

【お問合せ】さんさん

電話：077-587-4290

(平日9:00～17:00)

